

# 医労連速報 '15春闘



2015年3月23日 No. 28 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

## 「安心・安全の医療・介護を」院内集會に250名

3月19日、かねてから準備してきた「安心・安心の医療・介護を」院内集會は、250名が参加しました。国会議員（民主・維新・共産）も14名が参加し、次々と激励挨拶。第2弾の改悪である「医療保険制度改革関連法案」の廃案、介護報酬の引き上げ、安心・安心の医療・介護を求めて、共同を広げて頑張る意思統一を行いました。

集會後、主催者団体は、内閣府要請と、高橋千鶴子議員（衆・共産）同席で村木厚子厚労事務次官に要請しました。



### 賛同は42名・12団体

今集會の賛同は、当日までに個人42名、12団体となりました。

集會では呼びかけ人の本田、川嶋、伊藤各氏の挨拶のあと、全腎協・今井会長が来賓挨拶。「透析患者の平均年齢は67歳、75歳以上も3割で、医療・介護の問題は重要。第44次の国会議員要請を本で行った」としました。また難病患者の方も自身の経験を語り、入院給食費自己負担や診察料の定額負担の重さを告発しました。

各分野からの発言でも、子供が薬代を気にして処方前に値段を聞く、年金生活者が薬を間引きして内服、これ以上の自己負担増は治療食としての入院給食の否定、介護報酬引き下げで事業所が立ち行かなくなるなどの医療・介護崩壊の実態が報告されました。

宮本徹議員（共産）は、総務省の資料をもとに家計での医療費削減（年金生活者で▲12.6%）が最も多く、受診控えで対応している実態を追求したと報告。安倍首相は「原因は負担増ではなく、回数を減らしているから」と答弁。どこまでも国民生活に目を向けられない人です！やっぱり退陣しかありません。



上) 内閣府に要請する集會呼びかけ人  
(右から本田、伊藤、川島各氏)

下) 厚労省要請



## 本日23日から

## 回答引上げゾーン